

Japanese
Guide to Cervical Cancer

女性達へのメッセージ

健康を大切に！

子宮ガンについて学びましょう
子宮頸ガン と 子宮体ガン



より健康な社会づくりのために…

癌（がん）って何ですか？

癌には、様々なタイプのものがあります。どのタイプの癌も、体の中の細胞の性質が変わり、どんどん大きくなって制御できなくなります。ほとんどの癌細胞は、腫瘍と呼ばれるかたまりを作ります。腫瘍細胞は、人間の体を破壊し、体の他の所にも広がってそこでも増え続けます。癌性の腫瘍を、「悪性腫瘍」といいます。しかし、全ての腫瘍が癌という訳ではありません。癌性でない腫瘍は「良性腫瘍」といわれ、命に関わるものではありません。

子宮頸癌（しきゅうけいがん）って何ですか？

子宮の入り口を閉じる筋肉のところは子宮頸部（しきゅうけいぶ）といわれ、そこに癌ができます。子宮頸癌は、パップスメアで見つかってすぐに治療した場合、ほぼ100%が治ります。（これを忘れないで！）なぜならば、子宮頸癌は子宮頸部を縁取る部分（パップスメアをする場所）から始まる癌だからです。

子宮頸部（しきゅうけいぶ）ってどこですか？

子宮は膀胱の後部にあり、赤ちゃんが育つところです。子宮は、上部と下部の二つに分かれます。上部が赤ちゃんが育つところ（子宮体部、しきゅうたいぶ）で、下部が子宮頸部です。子宮頸部とは産道と子宮体部をつなぐ部分のことです。下に示した子宮の図を見てください。

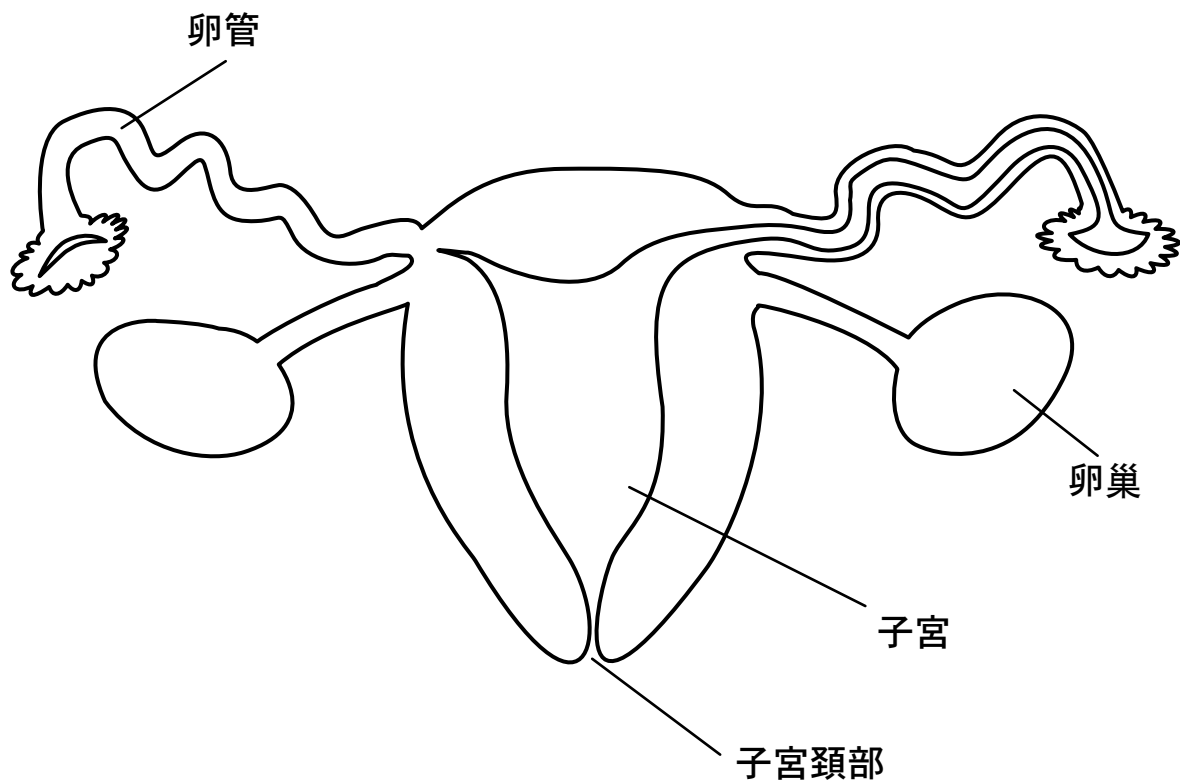


図 1

子宮頸癌は、ある日突然できるわけではありません。はじめに一部の正常な細胞が前癌細胞（ぜんがんさいぼう）に変わり、それから癌に変化します。この変化は、長い年月をかけて、痛みなどの何の症状もなく、私たちが気付かないうちに進行します。内診やパップテストをしない限りこれを発見することはできません。パップテストが子宮頸癌の最良の予防法なのです。

パップテスト（パップスメア）とは何ですか？

パップテストは、子宮頸部の異常な細胞を見つけるために行なう、痛みのない簡単な検査です。診察室で内診といっしょに行なわれます。この検査で、感染、炎症または癌を見つけることができます。

内診（ないしん）とは何ですか？

内診とは、女性の生殖器（せいしょくき）の内部に異常がないかどうかを調べる診察法です。下に示した女性の生殖器の内部の図を見てください。

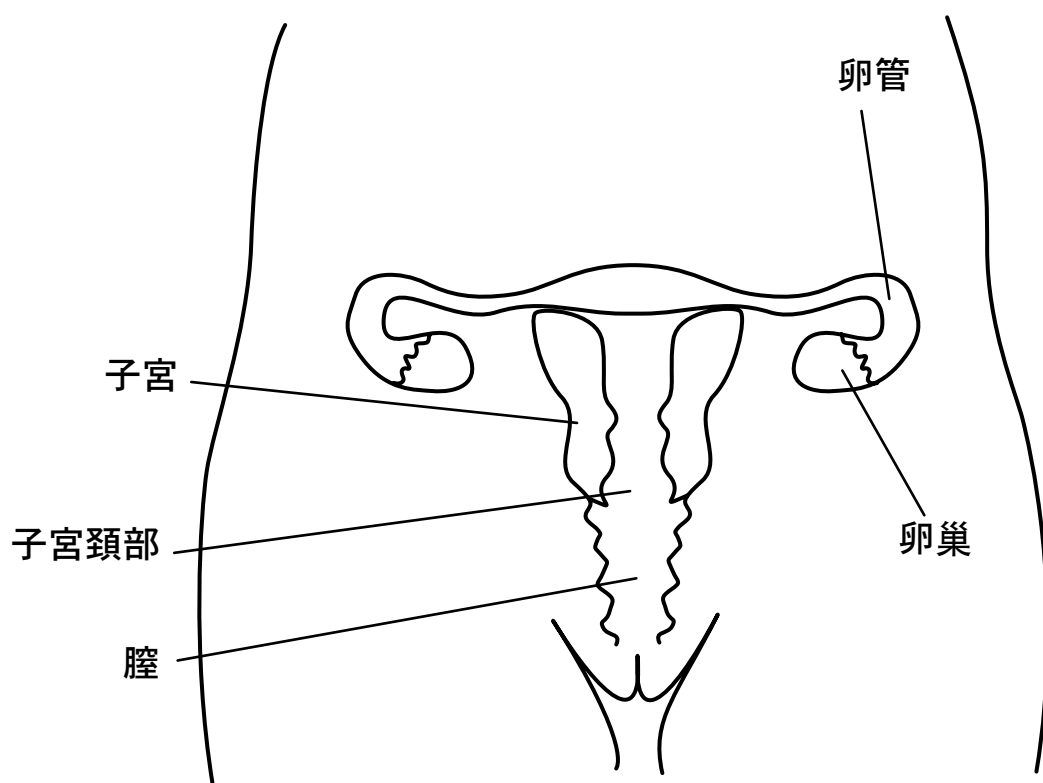


図 2

内診の際には、膣（ちつ）を広げる機具を使って、子宮頸部を診察します。

パップテスト（パップスメア）を受けるときは どうすればよいですか？

月経が始まった最初の日から数えて、10日から20日の間にテストを受けるのがよいでしょう。テストの前に、膣洗浄剤（douche、ピデ）は使わないで下さい。

子宮頸癌のリスクファクターは何ですか？

- 性交を早い年齢から始めた女性
- 性交の相手の多い女性
- 性交で移る、外生殖器にいぼを作るウイルス（パピローマウイルス）に感染したことがある女性
- 異常な性器出血（せいきしゅっけつ）やおりものがある女性

これらのリスクファクターのある女性は、
医師の診察を受ける必要があります。

子宮体癌（しきゅうたいがん）

子宮体癌は子宮の中にできるもので（図3参照）、
60歳以上の女性に最も多い癌です。

40歳以上の女性は、癌検診の一環として、1年に1回、子宮癌検診を受けなければなりません。

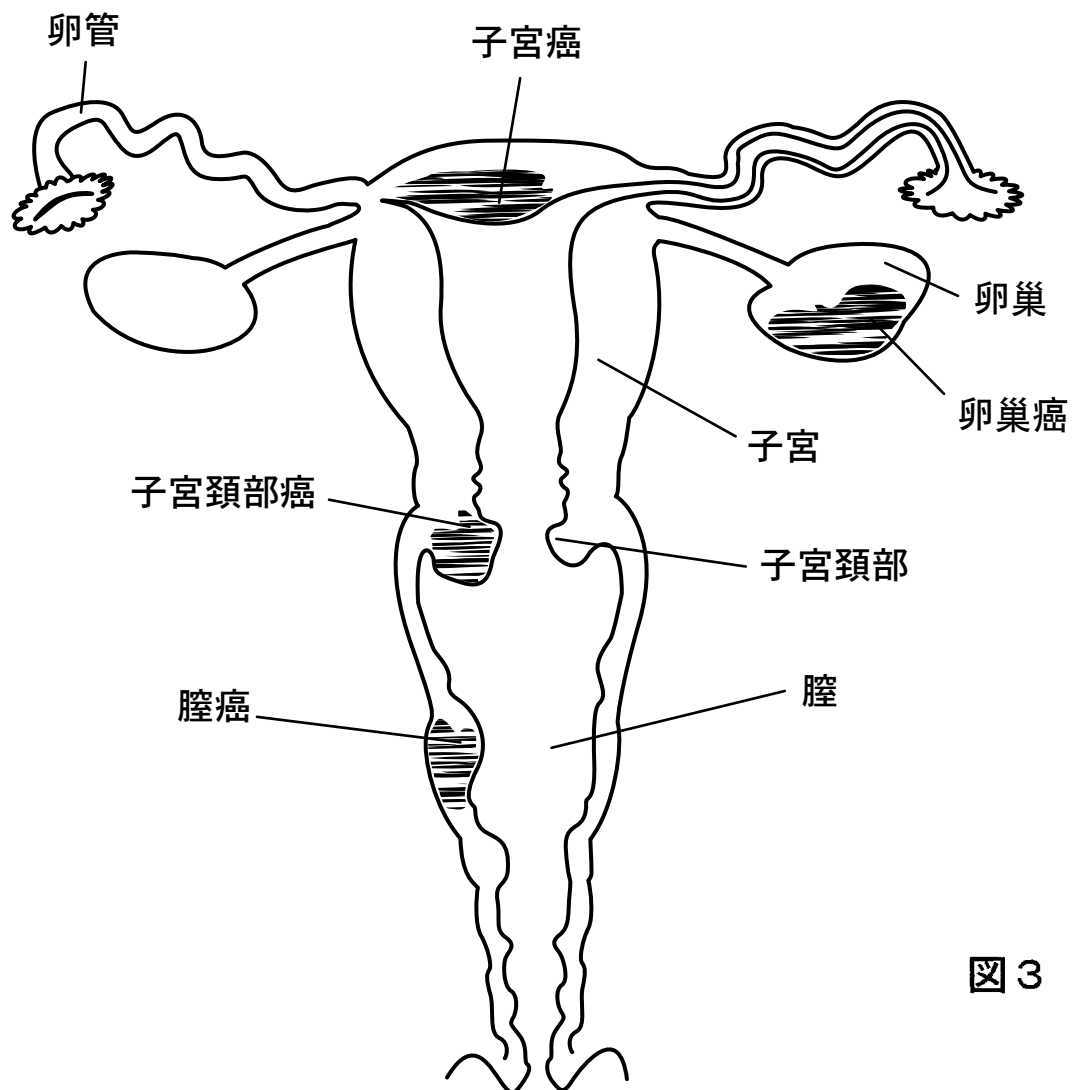


図3

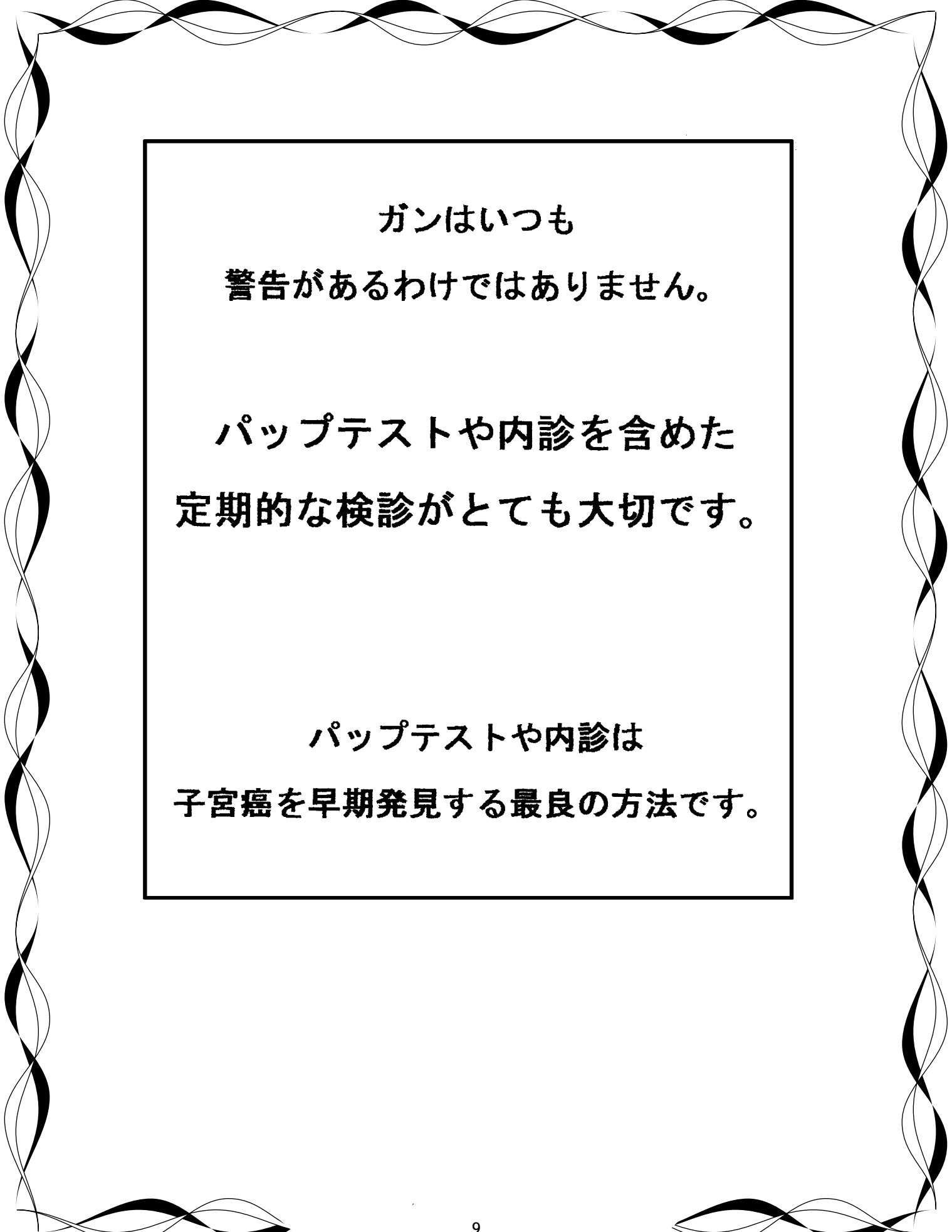
もし、以下の症状があったら医師の診察を受けて下さい。

- 月経以外の出血
- ひどい月経出血
- 月経が終わった後にも続く出血

もし癌が疑われた場合、医師が組織を採って顕微鏡で癌であるかどうか調べることになります。

子宮体癌のリスクファクター

- * 妊娠しにくい女性
- * 排卵がないと診断されたことのある女性
- * 太り過ぎの女性
- * 2年以上の期間、プロゲステロンなしにエストロゲンを飲んでいる女性
- * 子宮体癌の家族歴のある女性



ガンはいつも
警告があるわけではありません。

パップテストや内診を含めた
定期的な検診がとても大切です。

パップテストや内診は
子宮癌を早期発見する最良の方法です。

用語解説

良性（りょうせい）：癌性ではない、性質の良い腫瘍を表現する言葉です。

悪性（あくせい）：体を破壊し、他のところに広がる性質を示す言葉です。

腫瘍（しゅよう）：異常な組織のかたまりです。

癌（がん）：どんどん大きくなり、異常細胞を撒き散らす性質を特徴とする病気です。

前癌細胞（ぜんがんさいぼう）：正常な細胞から変化した、癌になる前の状態の細胞のことです。

子宮（しきゅう）：女性の体内にある、赤ちゃんを育てるための、小さなナシのような形の臓器です。

子宮頸部（しきゅうけいぶ）：子宮の下端の入り口です。

子宮頸癌（しきゅうけいがん）：子宮の頸部にできる癌です。パピローマウイルスが原因といわれています。

外生殖器（がいせいしよくき）のいぼ：パピローマウイルスによって生じるいぼです。

子宮体癌（しきゅうたいがん）：子宮の体部にできる癌です。

膣（ちつ）：女性の外生殖器の入り口にある臓器です。

パップスメア（パップテスト）：子宮頸部の異常細胞を見つけるための検査で、診察室で内診時にできる、痛みのない簡単なテストです。この検査で、感染、炎症、または癌を見つけられます。

内診（ないしん）：女性の生殖器の異常を見つけるための検査です。内診鏡という道具を使って、膣を広げて膣の上部や子宮頸部を診察します、

リスクファクター：ある病気にかかる可能性を上げる因子です。

Original Text by:

Niccu Tafarroodi, Ph.D.
Donald Whipple Fox

Original Text Edited by:

Katherine Levin, Ph.D.
Katherine is a native of St. Paul, Minnesota. Her field of expertise is writing and editing cancer prevention literature targeted at ethnic, immigrant, and underserved English-speaking communities.

Original Text Simplified by:

Rosemarie J. Park, Ph.D.
Rosemarie is a native of the United Kingdom. She is an Associate Professor at the College of Education and Human Development, University of Minnesota. Her area of work is in adult literacy and English language.

Illustrations by:

Nickdokht Torkzadeh
Nickdokht is a native of Tehran, Iran. She is a Graphic Designer at the University of Minnesota where she earned her MA from the School of Architecture. Her field of work is design, layout and graphics for print and interactive media.

Translated & Modified by:

Keiko Nakajima, M.D.
Keiko is a native of Japan. She is an oncologist who interned at the Hennepin County Medical Center. She is fluent in both Japanese and English.

This booklet was created in partnership
with the American Cancer Society.

Guide to Cervical Cancer
STAY HEALTHY
© 2013 C.C.H.
Japanese_c05-05